

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
分担研究報告書

てんかんの地域診療連携体制推進のためのてんかん診療拠点病院運用ガイドラインに関する研究

岡山県におけるてんかんの地域診療連携

研究分担者：小林勝弘 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 発達神経病態学 教授

研究要旨

岡山県近辺におけるてんかんの地域診療連携の状況を 2019～2020 年において倫理審査承認を得て調査したところ、岡山大学病院は当該期間の紹介患者は 327 例、逆紹介は 105 例、外科手術は 45 例、長時間ビデオ脳波モニタリング検査は 271 例であるなど、中国四国地方のてんかん診療の拠点として、岡山のみならず広く地域から患者の紹介を受け、また逆紹介を行っていることが示された。

A. 研究目的

岡山県近辺におけるてんかんの地域診療連携の状況を調査研究するにあたり、同地域のてんかん診療拠点機関である岡山大学病院における当該項目の診療状況を、2019～2020 年の期間において調査した。

B. 研究方法

岡山大学病院の 2019～2020 年の期間の小児神経科、脳神経内科、脳神経外科、精神科の受診歴から、てんかん及び関連疾患の入院・外来状況と紹介・逆紹介ならびに外科手術・長時間ビデオ脳波モニタリング検査に関わる患者数を調査した。

（倫理面への配慮）

岡山大学倫理委員会の承認を得て研究を行い、問題はなかった。

C. 研究結果

岡山大学病院における診療状況調査結果を表 1 に示す。2019～2020 年の期間の診療状況調査結果を表 1 に示す。

		年	2019	2020
受診患者数	実数	入院	207	173
		外来	2375	1217
	年齢別	成人	1514	806
		小児	861	411
	性別	男	1172	595
		女	1203	622
長時間ビデオ脳波検査実施数			176	41
外科手術件数			19	26
紹介した患者数			40	65
紹介された患者数			149	178

表 1. 岡山大学病院における診療状況調査

この間の紹介患者 327 例のうち、岡山市を含む岡山県東部からが最多で 97 例（29.7%）、県西部が 59 例（18.0%）、他の岡山県内が 39 例（11.9%）、広島県が 31 例（9.5%）、他の中国地方が 13 例（4.0%）、四国が 52 例（15.9%）、関西等が 36 例（11.0%）であった。紹介目的は診断が 137 例（41.9%）、薬物調整 131 例（40.1%）、手術

希望が 28 例 (8.6%)、転居等が 28 例 (8.6%) であった。逆紹介は 105 例で、相談件数は 110 件であった。

D. 考察

岡山大学病院が当該地域のてんかん診療拠点として機能し、広範囲から紹介患者を受けていることが明らかになった。

E. 結論

てんかんの診療を一層充実したものとするため、拠点と関連病院の関係は重要であり、こ

の調査は今後の発展のための資料になる。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

- | | |
|---------|----------|
| 1. 論文発表 | 当該研究は未発表 |
| 2. 学会発表 | 当該研究は未発表 |

H. 知的財産権の出願・登録状況

- | | |
|-----------|------|
| 1. 特許取得 | 該当なし |
| 2. 実用新案登録 | 該当なし |
| 3. その他 | 該当なし |